

Contents

②予想で楽しむ

収録理論で予想する	4
収録理論の紹介	7
予想項目の説明	11
オリジナル予想理論を作る	14
予想理論を自動作成する	18
買い目と予想印のカスタマイズ	26
フィルタをかける	28
穴馬チェッカー	31
複数のレースを一括予想する	33

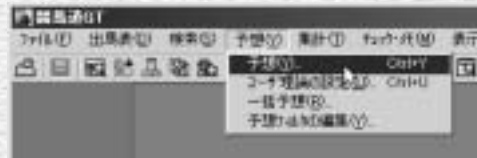
予想結果をメールで送信する	36
回収率計算	37
出馬表から新聞を印刷	41
複数レースの新聞を印刷	43
新聞に予想理論の印・買い目を入れる	44
新聞印刷の設定	47
特別登録馬データを検索する	49
想定出馬表を作成する	51

収録理論で予想する

競馬道GTの「予想機能」では、レースの予想に「予想理論」を利用します。競馬道GTに収録されている32本の理論に加え、ユーザ独自の理論を作成して予想することもできます。

▶ 収録理論の概要は「収録理論の紹介」をご覧ください(→7ページ)

収録理論で予想する手順



①「はじめてガイド」の手順で予想したいレースを含む「出馬表+競走馬」ファイルを登録し、メインメニューの「予想」から「予想」を選択します。



② 予想に利用する理論と、予想したいレースを選択します。この例では「競馬道汎用理論」を使って、シルクロードSを予想してみます。「実行」をクリックすると、予想が開始されます。

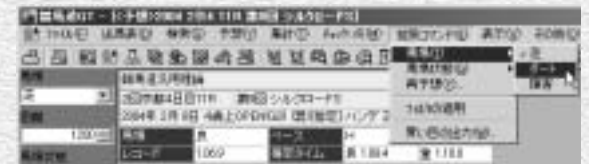
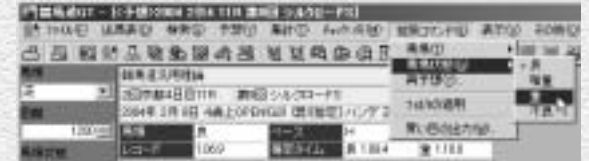
③ 予想処理が終了した画面です。「理論」の欄にある印が予想理論による予想印です。「予想」は競馬ブック予想印*、「[斤量]」と「[総合]」の間にある「[コース出目]」、「[距離適性]」等の数値は、予想理論で利用しているそれぞれの予想項目での各馬の順位を示したものです。詳細は、買い目と枠順の間にあるそれぞれのタブをクリックすることで確認できます。既にレースが終了し、成績を登録している場合は一番右に着順が表示されます。

*予想印は東：松本憲二、西：中野秀幸の予想印



馬場状態、コースを変更する

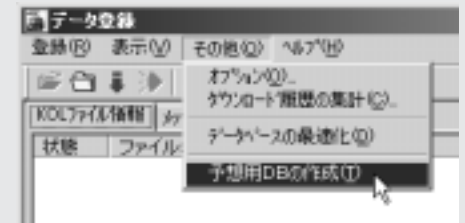
① 競馬道GTの予想理論では、良馬場を前提に予想が行なわれます。良馬場以外でレースが行なわれる場合、あるいは雪で芝のレースがダート変更になった場合などは、予想結果表示時にメインメニューの「拡張コマンド」から、馬場や馬場状態を変更してください。距離は「拡張ボックス」で変更できます。変更後は、「拡張コマンド」から「再予想」を選択することで、変更結果が予想に反映されます。



アドバイス

予想用データベースを作成する

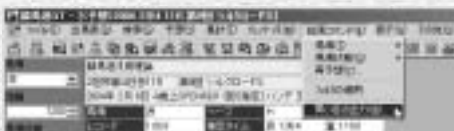
競馬道GTでは、出馬表や成績を表示するためのデータベースとは別に、予想用のデータベースを作成することができます。予想用データベースを作成すると、レースの予想にかかる時間を短縮できますので、予想機能を頻繁に利用する場合は作成するといでしょう。予想用データベースの作成は、「データ登録」ウィンドウの「その他」から「予想用DBの作成」を選択します。ただし、お使いのパソコンによってはデータベースの作成に数時間かかる場合もありますのでご注意ください。なお、この予想用データベースには、通常のデータ登録作業と同時に最新のデータが自動的に登録されますので、一度作成すればメンテナンスの必要はありません。



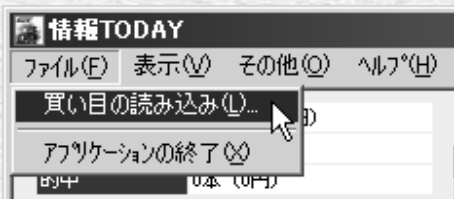
予想結果をIPAT投票機能に転送する



【情報TODAY】および【IPAT投票機能】の詳細は、①「はじめてガイド」の「情報TODAY」(P40)、および③「IPATで楽しむ」の「IPATを活用する」(P3)をご覧ください。



① 競馬道GTでは、予想結果の買い目をファイルに出力し、IPAT投票機能の投票リストに読み込むことができます。予想が終了したら、[拡張コマンド] から [買い目の出力] をクリックしてください。



③ 情報TODAYを起動し、[ファイル] メニューから [買い目読み込み] を選択します。[ファイルを開く] ダイアログが表示されますので、②で出力したファイルを指定してください。



② 購入しない馬券種別のチェックを外し、OKをクリックすると買い目ファイルが出力されます。ファイルの出力先は、競馬道GTのインストール先を初期設定から変更していない場合は「c:\¥kdg¥bin6¥」になりますが、ファイル名の横の[...]をクリックすれば変更できます。



④ 【IPAT投票】 ウィンドウに買い目を読み込まれます。金額の調整を行ない、[投票] をクリックすればIPAT投票が実行されます。

収録理論の紹介

競馬道GTには、著名な競馬評論家による7本の予想理論に加え、競馬道独自の理論4本と全G I レース対応理論21本の、合計32本の理論を収録しています。



競馬道GTでは、理論の予想項目数が最大8項目から10項目に拡大されました。そのため、収録理論の多くは「競馬道Pro」シリーズから変更が加えられています。

汎用理論

・競馬道汎用理論

どんな条件のレースにも対応できる汎用理論です。前作の「競馬道Pro」シリーズでは安定した的中実績を誇っており、競馬道GTにも変更なく採用されています。

・競馬道ワイド汎用理論

ワイド向きの汎用理論です。予想項目のうち、「騎手距離3着内率」の比重が高めに設定されています。

メインレース理論 / 最終レース理論

・競馬道メインレース理論

メインレースの予想に特化した理論です。騎手と競走馬に関する予想項目が多く採用されており、メインレースを勝てるだけの資質を持つ騎手や競走馬が重視されます。

・競馬道最終レース逆転理論

最終レースで「一発逆転」を狙う理論です。通常予想では見落とされがちなトレーナーに関する予想項目を多く採用し、人気の盲点を狙います。

G I レース理論

中央競馬の全G I に対応する21本の理論です。予想項目数の増加に伴い各理論とも「競馬道Pro」シリーズから変更が加えられていますが、3年連続的中を続ける「競馬道【有馬記念】理論」は、「競馬道Pro」シリーズと同じものを収録しました。

競馬評論家による理論

著名な競馬評論家陣による理論が計7本収録されています。理論のポイント等について次ページ以降で解説して頂いておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

著名な競馬評論家陣によるプロの「予想理論」とその予想項目の設定のポイントを解説していただきます。予想の実行にはもちろん、オリジナルの理論を構築する際の参考としてお役にください。

原 良馬



競馬の予想には様々な要素がありますが、私が最も重視する要素は、各馬の「距離適性」そして「コース実績」（競馬場適性・芝ダート適性）です。次に騎手の実績や着差タイムなどを考慮しながら予想を組み

立てていきます。

新馬券が発売され馬券の選択肢が増えたことで、予想の楽しみも増えましたが、それと同時に検討する要素も多くなりました。むやみに高配当を狙って馬単・3連複を買うのではなく、予想するレースが堅そうか、荒れそうかという点に着目して、どの馬券を買うのか見極めましょう。

私たち専門家は「勝ち馬を見つける」ことが仕事ですから、馬単の予想には自信があります。馬単専用理論は、勝ち馬を堅実に押さえるための理論です。競走馬の「勝率」「コース適性」を重視しています。「競走馬2着率」は「特に大崩れをしないが勝てない馬」を探するために、馬単予想ではぜひ押さえてほしい要素です。

3連複は高い配当ばかりが印象に残りますが、実際は1・2番人気絡む確率が大変高いことを忘れないでください。私は4頭ボックス4点買い程度に点数を押さえ、3000円から8000円程度の配当を確実に当てていくことをおすすめします。3連複理論は馬の距離実績や距離3着内率など、競走馬の距離適性を重視した理論になっています。

ただ、予想するレースに合わせて馬券を選ぶことが大切であると前述したように、レースのクラスや距離を考慮することで重視する要素は変化します。新馬戦では血統・騎手を重視すること。特に有力ジョッキーが、地方開催にわざわざ来て乗るような場合は要注意です。長距離戦では、ペース配分や仕掛けのタイミングのうまい、実績のある騎手がキーポイントになります。このように、予想するレースに合わせて臨機応変に理論を調整することで、回収率を上げることができ

原良馬の馬単理論

競走馬	競走馬勝率	100	競走馬	競走馬コース適性	100
競走馬	競走馬2着率	60	厩舎	トレーナー連対率	100
騎手	騎手クラス連対率	60	競走馬	穴馬期待度	50
人気オッズ	人気評価	100	タイム	上がり3F	100



原良馬の3連複理論

競走馬	競走馬距離連対率	85	種牡馬	種牡馬距離実績	100
競走馬	競走馬距離3着内率	35	種牡馬	種牡馬競馬場実績	100
競走馬	穴馬期待度	10	厩舎	トレーナークラス3着内率	50
騎手	騎手クラス3着内率	85	タイム	着差タイム	30



競馬道Pro3より、「3連複大穴理論」を掲載させていただきました。名前どおり、3連複の穴馬券をゲットするための理論です。この理論による予想結果は、競馬道Online上で毎週発表。こちらの想定である「6頭ボックス20点買い」ではなく、「5頭ボックス10点買い」という厳しい条件にもかかわらず、毎週のように高配当を的中させています。トリガミである安い配当も当たってしまうのが玉に瑕ですが、3連複の馬券戦略としては、なかなか面白い視点だったのではないかと考えているところです。

さて、今回「競馬道GT」の完成にあたり、予想項目が10項目に増えましたので、理論をシェイプアップすることにしました。具体的には、より「回収率重視」の方向で、多少的中率は犠牲にしても、穴馬券を的中させることに主眼を置いています。項目としては「レーティング」「トレーナークラス3着内率」「種牡馬クラス3着内率」「斤量評価」を新たに導入。3連複にはあまり意味がないと思えた「騎手距離2着率」「騎手クラス勝率」を省きました。3連複の穴馬券を狙うためには、あまり人気が結びつかないファクターが大切だと思いますので、このラインアップには満足しています。

さて、この理論の検証ですが、2003年9月1日から2004年2月1日までの1600万下、オープン、重賞レース、3連複で2010円以上の配当が出たレースを対象にやってみました。2010円以上の配当としたのは、6頭ボックス20点買いが基本なので、2000円未満の配当ではトリガミになってしまうからです。20点の買い目の内、20倍以下のフォーカスはすべて外すことを想定しています。回収率重視で行くなら、トリガミの馬券を買っても仕方ありません。回収率計算したところ、全122レース中27レース的中。的中率22%回収率279%をマークしました。以前の理論が回収率186%でしたから、かなり回収率は向上しています（その分、的中率は厳しいはず）。なお、3連複20倍以下のレースも入れると、的中率は向上するでしょうが、やはり回収率が低くなってしまいます。

的中した万馬券は、京阪杯44万2480円！を筆頭に、中山新春ジャンプS 7万7360円、ファイナルS 2万420円、京都牝馬S 1万6320円、神無月S 1万4110円、平安S 1万3430円。ほかにも、ステイヤーズS 9480円、鳴尾記念9100円など高配当連発です。意外なことに、障害レースも多数的中させているのが面白い傾向ですね。騎手や種牡馬、トレーナーといった障害に欠かせない要素をうまく反映できているからではないでしょうか。

実際にこの理論を馬券に応用される場合ですが、「狙ったレースで大きく勝負！」というやり方には向かないとお考えください。数多くのレースで100円ずつ試してみても、たまたま穴馬券が引っかけたら儲けモノ。そんな買い方が一番向いているはず。狙って取りに行くのではなく、引っかけに行く馬券術。そういうやり方もまた、競馬の楽しみ方の一つでしょう。

市丸博司の新・3連複大穴理論

ブック	レコード指数	10
種牡馬	種牡馬レース実績	97
厩舎	トレーナークラス3着内率	86
種牡馬	種牡馬クラス3着内率	35
タイム	着差タイム	78
騎手	騎手クラス3着内率	55
種牡馬	種牡馬距離実績	85
競走馬	距離適性	57
ブック	レーティング	36
競走馬	斤量評価	28



奥田隆一郎 GIレースで驚異的な強さを発揮！「直結理論GT」

「直結指数」は競走馬の適性を数値化しているため、競馬道GTの予想ファクターと合わせる場合、能力系のファクターと好相性を示す。なぜなら、コース適性の高い馬でも極端に能力が低ければ5着止まりかみしれず、反対に適性が平均的でも能力がズバ抜けて高ければ2～3着で馬券に絡む可能性があるからだ。そこで、「直結指数=100」をメインファクターにした上に、信頼度の高さを表す「競走馬・3着内率=40」と能力の高さを表す「オッズ評価（前後200m・過去5走）=40」で能力的な要素を補完することにより、爆発力と信頼度を兼ね備えた新馬券術「直結理論GT」を完成させた。



新しい馬券術を作るときは、的中率と回収率のバランスが重要。馬券収支は的中率=回収率にはならないため、能力系のファクターを重視しすぎると的中率が上昇しても回収率は下降する。根拠ある穴馬を探すための「直結指数」と、補完的に使う能力系のファクターを絶妙な比率で掛け合わせることで最強の馬券術になるのである。

「直結理論GT」は、特にG1レースで威力を発揮する。能力の極限を争うG1レースは、出走馬が万全の仕上げで挑むことや多頭数になりやすいことから、最も適性が重要になるレースである。つまり、能力・状態がトップレベルの競走馬が揃ったときに勝負を決するのは適性だといえる。「直結理論GT」の上位5頭で馬連BOX（10点）買いで検証したところ、2003年G1レース（芝）のうち、高松宮記念（馬連3520円）、皐月賞（820円）、天皇賞春（16490円）、日本ダービー（760円）、スプリンターズS（940円）、秋華賞（450円）、エリザベス女王杯（530円）、マイルCS（3240円）、阪神ジュベナイルF（19700円）、有馬記念（1290円）が的中した。芝のG1レース全19レース中10レースが的中しており、的中率52.6%・回収率251.3%となる。万馬券も2本含んでおり、まさに驚異的な成績といえるだろう。

なお、「直結理論GT」で1000万クラス以上のレースを馬連10点買した場合、回収率が100%を超える競馬場は別表の通りである。「直結理論GT」は、G1レースを的中させるための理論だが、札幌・函館・中京・阪神・小倉では1000万クラス以上のレースでも使うことができる。今後は、「直結指数」と最高の相性になる能力値を独自開発したいと思う。「直結指数ビュー」にて、「直結指数」+能力値をクロスさせた総合指数も競馬道OnLineで配信したいと考えているので、ご期待ください！

直結理論GT

競走馬	直結指数	100
競走馬	競走馬3着内率	40
人気・オッズ	オッズ評価	40

回収率100%超の競馬場 (2003年・芝・1000万クラス以上)

競馬場	レース数	的中数	的中率	回収率
札幌	24	9	37.5%	104.7%
函館	18	8	44.4%	112.5%
中京	35	8	22.9%	288.0%
阪神	79	28	35.4%	103.4%
小倉	30	12	40.0%	113.3%



直結指数ビュー (③「IPATで楽しむ」60ページへ)

予想項目の説明

競馬道GTで予想理論を作成する際には、110種類の予想項目が使用できます。各予想項目の内容は次の通りです。

競走馬	
斤量評価	出走馬の登録斤量によるタイム評価
着順評価	出走馬の指定レース数の着順評価
競走馬競馬場実績	出走馬の当該競馬場での実績
距離適性	出走馬の指定距離での着順評価
競走馬連対率	過去の全レースの連対率評価
競走馬勝率	過去の全レースの評価
競走馬距離連対率	過去の全レースの指定距離範囲での連対率評価
競走馬距離勝率	過去の全レースの指定距離範囲での勝率評価
競走馬馬場適性	推定馬場での実績
競走馬コース適性	出走馬の芝もしくはダート実績
血統（種牡馬総合実績）	指定期間の産駒の着順評価
枠順実績	出走馬の当該レースの枠順（内、中、外）での実績評価
頭数実績	出走馬の当該レースの頭数（少頭数、中頭数、多頭数）での実績評価
競走馬格評価	出走馬の格の評価
競走馬季節実績	出走馬の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
競走馬騎手実績	出走馬の当該レースの騎手の実績評価
競走馬3着内率	過去の全レースの3着内率評価
競走馬距離3着内率	過去の全レースの指定距離範囲での3着内率評価
競走馬実績	該当馬の実績評価
競走馬開催実績	競走馬の指定開催での実績評価
競走馬レース実績	指定距離範囲の同競馬場・同コースでの実績評価
競走馬コース実績	該当競馬場・コースでの競走馬の実績評価
競走馬コース勝率	該当コースでの競走馬の勝率評価
競走馬コース連対率	該当コースでの競走馬の連対率評価
競走馬コース3着内率	該当コースでの競走馬の3着内率評価
穴馬期待度	競走馬の穴馬期待度
競走馬2着率	過去の全レースの2着率評価
競走馬距離2着率	過去の全レースの指定距離範囲での2着率評価
競走馬3着率	過去の全レースの3着率評価
競走馬距離3着率	過去の全レースの指定距離範囲での3着率評価
直結指数	出走馬の直結指数評価（指数は2004年1月25日までのデータ）
競走馬クラス勝率	同クラスレースの勝率評価
競走馬クラス連対率	同クラスレースの連対率評価
競走馬クラス3着内率	同クラスレースの3着内率評価

騎手

騎手実績	指定期間の関東・関西総合の評価
騎手連対率	指定期間の連対率評価
騎手勝率	指定期間の勝率評価
騎手距離連対率	指定期間の指定距離範囲での連対率評価
騎手距離勝率	指定期間の指定距離範囲での勝率評価
騎手レース実績	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの実績評価
騎手3着内率	指定期間の3着内率評価
騎手距離3着内率	指定期間の指定距離範囲での3着内率評価
騎手季節実績	騎手の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
騎手開催実績	騎手の指定開催での実績評価
騎手枠順実績	騎手の当該レースの枠順（内、中、外）での実績評価
騎手頭数実績	騎手の当該レースの頭数（少頭数、中頭数、多頭数）での実績評価
騎手競馬場実績	騎手の該当競馬場での実績（同競馬場での着順平均を評価）
騎手馬場適性	騎手の推定馬場での実績
騎手距離適性	騎手の指定距離での着順評価
騎手着順評価	騎手の指定レース数の着順評価
騎手トレーナー実績	騎手の当該レースのトレーナーの実績評価
騎手コース実績	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の実績評価
騎手コース適性	騎手の芝もしくはダート実績
騎手コース勝率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の勝率評価
騎手コース連対率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の連対率評価
騎手コース3着内率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の3着内率評価
騎手2着率	指定期間の2着率評価
騎手距離2着率	指定期間の指定距離範囲での2着率評価
騎手3着率	指定期間の3着率評価
騎手距離3着率	指定期間の指定距離範囲での3着率評価
騎手クラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価
騎手クラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
騎手クラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
騎手クラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
騎手クラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
騎手クラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

種牡馬

種牡馬距離実績	指定期間の指定距離範囲での産駒の実績評価
種牡馬コース実績	指定期間の同競馬場・同コースでの産駒の実績評価
種牡馬季節実績	種牡馬産駒の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
種牡馬開催実績	種牡馬産駒の指定開催での実績評価
種牡馬レース実績	指定期間、指定距離範囲の同競馬場・同コースでの実績評価
種牡馬競馬場実績	種牡馬の該当競馬場での実績評価
種牡馬距離適性	種牡馬の指定距離での着順評価
種牡馬馬場状態	設定された馬場状態における産駒の着順評価
種牡馬コース適性	産駒の芝もしくはダートでの着順評価
種牡馬クラス勝率	同クラスレースにおける産駒の勝率評価
種牡馬クラス連対率	同クラスレースにおける産駒の連対率評価
種牡馬クラス3着内率	同クラスレースにおける産駒の3着内率評価

厩舎

トレーナー連対率	指定期間の連対率評価
トレーナー実績	指定期間の関東・関西総合の評価
トレーナー3着内率	指定期間の3着内率評価
トレーナー勝率	指定期間の勝率評価
トレーナー季節実績	トレーナーの当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
トレーナー開催実績	トレーナーの指定開催での実績評価
トレーナーレース実績	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの実績評価
トレーナー距離実績	指定期間の指定距離範囲でのトレーナーの実績
トレーナー競馬場実績	トレーナーの該当競馬場での実績評価
トレーナー距離適性	トレーナーの指定距離での着順評価
トレーナーコース実績	指定期間の当該競馬場とコースでのトレーナーの実績評価
トレーナー2着率	指定期間の2着率評価
トレーナー3着率	指定期間の3着率評価
トレーナークラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価
トレーナークラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
トレーナークラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
トレーナークラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
トレーナークラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
トレーナークラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

タイム

平均タイム	出走馬の同距離でのタイム評価
最高タイム	出走馬の同距離での最高タイム評価
前半3F	出走馬の指定距離での前半3ハロンタイム評価
上がり3F	出走馬の指定距離での上がり3ハロンタイム評価
着差タイム	出走馬の指定距離での着差タイム評価

競馬ブックデータ

レコード指数	出走馬の指定レース数のレコード指数平均
予想印	当該レースの予想印の評価
予想オッズ	当該レースの予想オッズの評価
調教印	当該レースの各出走馬の調教印の評価
レイティング	出走馬の当該レースでのレイティングの評価

人気・オッズ

人気評価	出走馬の指定レース数の人気評価
オッズ評価	出走馬の指定距離範囲の指定レース数オッズ平均
コース出口	指定期間の当該競馬場およびコースでの馬番別1、2、3着評価

アドバイス

共通に使われる用語の詳しい内容については、以下を参考にしてください。

実績	： 着順平均	3着率評価	： 3着数÷出走数
勝率評価	： 1着数÷出走数	着順評価	： (出走頭数÷着順)の平均
連対率評価	： (1着数+2着数)÷出走数	同コース	： 芝・ダート・障害別のコースを指します。
3着内率評価	： (1着数+2着数+3着数)÷出走数	馬場	： 馬場状態（良・稍重・重・不良）を指します。
2着率評価	： 2着数÷出走数		

オリジナル予想理論を作る

競馬道GTでは、収録済みの予想理論を利用するだけでなく、ユーザがオリジナルの予想理論を作成できます。最大10個の予想項目を組み合わせられ、それぞれのウエイト(重視度)も調整することができます。

新規理論の作成と予想項目の設定

①オリジナルの予想理論の作成は、メインメニューの【予想】から【ユーザ理論の設定】で行ないます。既に設定されている理論の一覧が表示されますので、ここでは【新規】をクリックします。

また、新たに理論を作成するのではなく、既に設定されている理論をもとに予想をアレンジすることもできます。詳しくは次ページの「アドバイス」をご覧ください。



②新規のユーザ理論作成画面です。まず、新しく作る理論の名称を決定します。この画面を開いた直後は、画面左上に「新規理論1」という仮の理論の名称が入力されていますので、作成したい理論の名称に書き換えてください。理論の名称は全角30文字まで入力できます。



③理論の名称を決定したら、予想項目の設定に入ります。まず、10項目ある予想項目の左端にあるボックスをチェックします。するとその右側にある【▼】のついたプルダウンメニューが操作可能な状態になりますので、予想理論に使う項目を選択します。

項目を選択すると、画面左下のボックスに、その項目についての説明が表示されますので、参考にしてください。

④続いて、予想項目のウエイト(重視度)を設定します。予想項目は最大で10項目設定できますが、このウエイトを調整することによって、それぞれの項目を予想に反映する割合を決めることができます。

ウエイトの設定は、項目の右にある調整バーをマウスで左右にスライドさせるか、その隣にある数値ボックスに直接数値を入力します。



アドバイス

収録理論をアレンジする

競馬道GTの予想理論で利用できる予想項目は多岐にわたり、この組み合わせによって、様々な予想理論を作成することができます。しかし、新たに理論を作成する場合、選択した予想項目の種類やウエイトの調整具合によっては、その予想結果があまり芳しくないケースも考えられます。そこで、最初は既にある予想理論にアレンジを加えて利用してみるのもひとつの方法です。例えば【予想】 - 【ユーザ理論の設定】画面を開き、「競馬道汎用理論」を選択した状態で【複製】をクリックすると「コピー〜競馬道汎用理論」というものが作成されます。これを選択して【編集】をクリックすれば、作成した「コ



ピー〜競馬道汎用理論」の内容が表示され、各項目の調整ができるようになります。

⑤次に、選択した項目の【集計対象距離】と【集計期間】を設定します。あまり対象距離や期間を広げ過ぎてもデータの信頼性が損なわれますし、狭すぎると該当する条件に出走(騎乗)した経験が少ない場合などはデータ不足になりますので注意が必要です。なお、この【集計対象距離】や【集計期間】は、選択した予想項目によっては入力する必要がないものもあります。



⑥ここまでと同様に、2つ目以降の予想項目についても設定していきます。画面右下には、設定された予想項目の比率が棒グラフで表示されますので参考にしてください。予想項目は最大10項目となっており、1つ以上設定してあれば理論として使用可能になります。必要な項目すべての設定が終了したら、【保存】をクリックして、作成したユーザ理論を保存します。



⑦予想理論の作成が終了したら、設定済みの理論一覧に、作成した新しい理論が加わっていることを確認してください。理論名をマウスでクリックして選択すると、画面の下に選択した理論の内容が表示されます。この状態で【編集】をクリックすると、作成した理論の内容を修正できます。また、不要になった理論は【削除】をクリックすると削除され、【UP】【DOWN】ボタンをクリックすれば、理論の表示順を入れ替えられます。

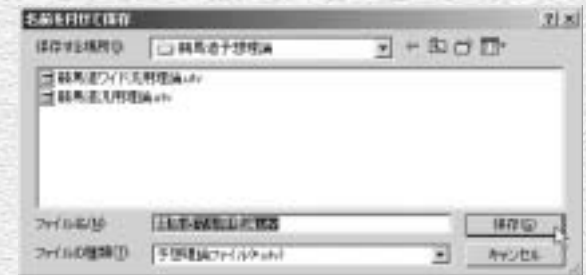


予想理論ファイルの保存

①競馬道GTで作成した予想理論は、ファイルとして保存して、メールで他のGTユーザに渡すこともできます。「ユーザ理論指定」画面(前ページ手順⑦)で保存したい理論を選択し、【保存】をクリックします。



②右のような画面が表示されますので、ファイルの保存先を指定すればファイルへの保存は完了です。逆に予想理論ファイルを読み込む際は、「ユーザ理論指定」画面で【読み込み】をクリックします。



アドバイス

「回収率計算」で予想理論を検証する

作成した予想理論は、次ページから紹介する【一括予想】での予想にも利用することができます。しかし、作成した予想理論がどの程度の精度を持っているのか、あるいはどんなレースに向けた理論なのかを判別するためには、少々手間がかかります。そのため、競馬道GTには予想理論を検証する「回収率計算」機能が搭載されています。詳しくは3ページ以降で解説しますが、この機能を使えば過去に行なわれたレースの結果と作成した予想理論の予想を照らし合わせ、的中率や回収率が計算される他、的中レースの一覧も表示されます。理論を実際に利用する前に、この機能で検証しておくとい良いでしょう。



予想理論を自動作成する

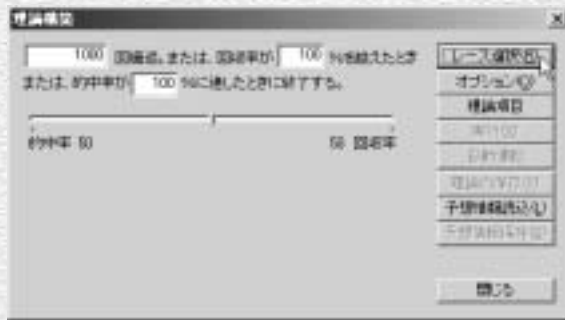
競馬道GTでは、過去のデータをもとに予想理論を自動的に作成することが可能です。データを集計するレースを設定し、目標とする的中率、回収率を設定するだけで、簡単に最適な予想理論を作成できます。

最適理論の構築

① メインメニューの「予想」から「ユーザー理論の設定」を選び、「ユーザー理論設定」のウィンドウを表示します。ここで「最適理論構築」をクリックしてください。「ユーザー理論設定」のウィンドウはツールバーにあるアイコンをクリックしても表示することができます。



② 「最適予想理論の構築」ウィンドウが表示されます。ここでは、まず理論の構築に利用するレースを選択します。最適予想理論の自動構築では、ここで選択したレースに的中率や回収率が規定の数値以上になるかどうかを判定しながら予想理論を作成します。レースの選択は、画面右上の「レース選択」ボタンをクリックして行ないます。



③ レース選択は「日時・競馬場」[開催] [重賞]の3つのカテゴリ検索で、何レースでも選ぶことができます。「距離・馬場」[年齢・クラス] [配当] [ペース・馬場状態]の各項目は、チェックボックスにチェックを入れた上で「詳細」ボタンをクリックして条件を設定してください。1つ、あるいは全部のタブで条件を設定し、それぞれのタブで「検索」をクリックすれば、条件に該当するレースが「結果」の欄に追加されます。



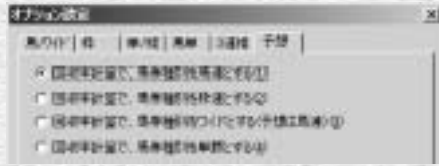
④ ここでは、桜花賞を例にして最適予想理論を構築してみます。「重賞」タブの中でG Iの桜花賞を検索した画面です。インストール時に「最大」または「標準」を選択した場合は94年以降の10レースが表示されますが、ここでは仮に、過去5年分のデータで理論を構築することにします。 unnecessary races are removed with the '削除' (Delete) button. When race selection is finished, click the '適用' (Apply) button.



⑤ 「適用」をクリックすると、「最適予想理論の構築」ウィンドウに戻ります。ウィンドウ下部に、適用したレース数が表示されますので確認してください。続いて「オプション」をクリックします。



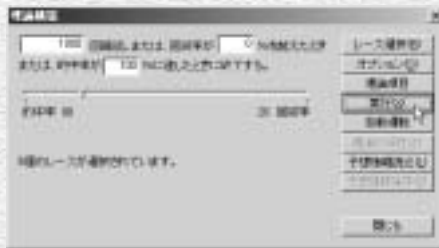
6 [オプション設定] では、最適予想理論を構築する際、的中率や回収率の計算に利用する買い目の数や馬券の種類を設定します。まず [予想] タブで馬券の種類を選択し、続いて馬券種別のタブ ([馬/ワイド] [枠] [単/複] [馬単] [3連複]) で、買い方を決定します。



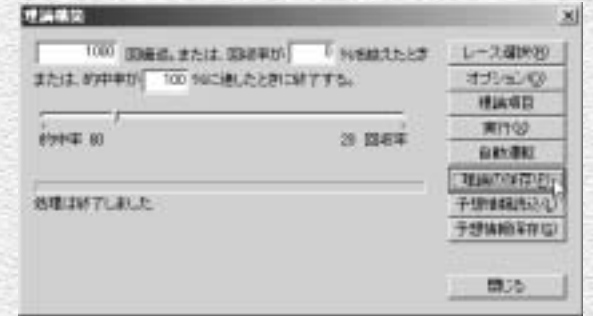
7 6で [OK] をクリックして [最適予想理論の構築] ウィンドウに戻り、続いて [理論項目] をクリックします。ここでは、最適予想理論の構築に用いない予想項目をチェックします。また「同一理論項目は理論に含めない」をチェックすると、10個の予想項目が重複しない理論を作成できます。



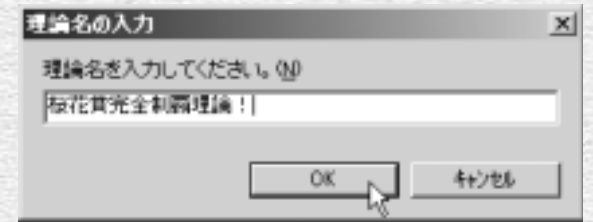
8 次に、理論作成の条件を設定します。自動作成された理論的中率や回収率が目標に達しなかった場合は、繰り返して複数の理論が作成され、目標を超える理論が作成できた時点で自動作成は終了します。目標を超えなかった場合は、指定された回数で終了します。なお、回収率を0%に設定すると、回収率は終了条件から除外されます。繰り返しの回数や的中率に0を設定した場合も同様です。設定が終了したら、[実行] ボタンをクリックしてください。最適理論の自動作成が開始されます。



9 最適予想理論の作成中は、ウィンドウ下部に進行状況とインジケータが表示されます。インジケータが消え、「処理は終了しました。」と表示されたら理論の作成は終了です。[理論の保存] をクリックして作成した理論を保存します。



10 [理論の保存] ボタンをクリックすると、理論の名称の入力を求められますので、わかりやすい名称をつけて保存してください。



11 保存した理論は [ユーザ理論指定] 中の、[設定済みの理論一覧] に追加されます。これで、作成した理論を予想に活用できるようになります。



アドバイス

予想情報を保存する

一度ある条件を設定して最適予想理論を作成すると [予想情報保存] のボタンがアクティブになります。この [予想情報保存] ボタンは、理論構築の際に利用した計算結果をファイルに保存するために利用します。ここで保存しておいたファイルを読み込めば、同一計算のムダを省くことが可能です。計算が終了した時点で [予想情報保存] をクリックし、ファイルの保存先とファイル名を指定すれば計算結果が保存されます。再び同じ条件で計算をするときは、この画面で [予想情報読み込み] をクリックします。読み込むファイルを指定するウィンドウが開きますので、ここで先に保存したファイルを指定すれば読み込みは完了です。なお、競馬道Proシリーズで作成した予想情報を読み込むことはできません。



最適理論の構築を自動運転（同じ条件で理論を複数作成する）

① 最適理論の構築は、自動で複数回行なうことも可能です。自動運転を行えば、同じ条件設定から複数の理論を作成し、ユーザがその中から適切な理論を選ぶことができるようになります。自動運転の手順は、途中までは予想理論の自動作成で説明したものと同様です。メインメニューの「予想」から「ユーザ理論の設定」で、「ユーザ理論指定」ウィンドウを表示し、ここで「最適理論構築」ボタンをクリックします。



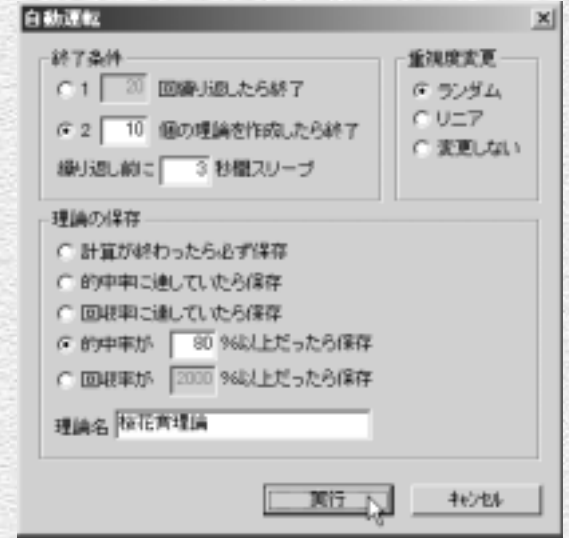
② 「最適予想理論の構築」ウィンドウが表示されたら、予想理論の自動作成のときと同様に、理論の構築に利用するレースを選択します。ここでは、前ページまでと同様に桜花賞の過去5年を対象にしていますが、阪神芝1600メートルの全レースや、3歳のGI戦を全て、といった選び方もできます。レースの選択が完了したら「理論項目」で理論作成に使用しない項目を設定します。



③ 「重視度」は、自動運転中に変更する設定（ランダム）にする場合（次ページ手順④）は、ここでは変更しなくて構いません。自動運転中の重視度を固定する場合のみ、ここで重視度を設定してください。すべて終了したら「自動運転」ボタンをクリックします。



④ 自動運転の設定ウィンドウです。終了条件や重視度、理論保存の条件等を設定します。終了条件にある「繰り返し前にn秒間スリープ」の値は、同じような理論がいくつも作成されてしまう場合に変更してください。重視度は「ランダム」に設定するとランダムに変更され、「リニア」では比率を一定の割合で変化させます。「変更しない」の場合は、前ページの手順③で指定した値になります。設定が終了したら「実行」ボタンをクリックしてください。



⑤ 「自動運転」のウィンドウが閉じ、最適理論構築の自動運転が開始されます。下段のインジケータが右端まで到達したら、自動運転は終了です。手順④の設定に該当する条件の予想理論が、自動的に保存されます。



⑥ 自動運転で作成された予想理論です。理論の名前は、手順④で理論名に入力した文字に、番号、的中率、回収率を加えたものになります。画面で選択されている「桜花賞理論1 (80-1757)」は、手順④で入力した「菊花賞理論」の1番目で、的中率が80%、回収率が1757%であることを示しています。ここで作成した予想理論は、他の理論同様に編集や複製が可能です。作成された理論を比較して、適切と思われるものを利用するといでしょう。



予想理論を作り直す (再構築)

① 理論の再構築とは、既に作成されている予想理論に、最新のレース結果を反映させて、理論を作り直すことです。ここでは先に手動で作成した「競馬道マル得理論」を再構築してみます。

メインメニューの「予想」から「ユーザ理論の設定」を選択します。「ユーザ理論指定」ウィンドウが表示されますので、再構築したい理論を選択して「再構築」ボタンをクリックします。再構築後は、新たに作成した理論がもともとなった理論に上書きされますので、必要に応じて「複製」しておくといいいでしょう (→次ページ、アドバイス参照)。



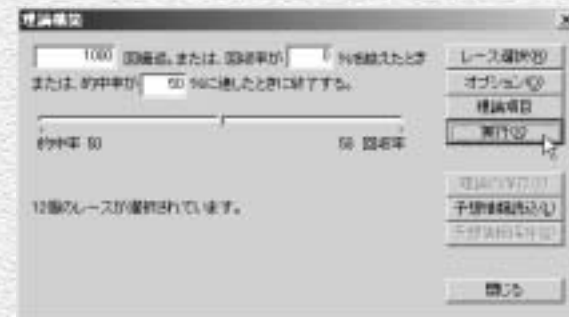
② 18ページから解説している「最適理論の構築」と同様に、理論構築の際的中率、回収率を計算するレースを指定します。「レース選択」ボタンをクリックしてください。



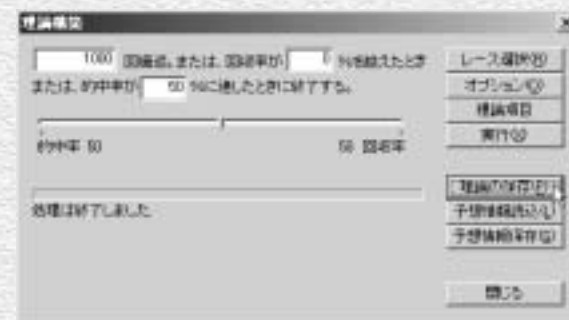
③ 「レース群の選択」ウィンドウが表示されます。ここで選択したレース条件に合わせて、もとの理論項目を使った新しい理論を再構築します。



④ レースの選択が終了したら、的中率、回収率など理論作成の条件を設定し、「実行」をクリックします。なお、再構築では元になる理論に採用されている予想項目のみを利用します。元の理論にない予想項目も再構築に利用する場合は、「理論項目」ボタンをクリックして、利用したい予想項目のチェックを外してください。



⑤ 理論の作成が終了したら、「理論の保存」をクリックして、再構築した理論を保存してください。「保存されました」という確認のダイアログが表示されれば再構築は終了です。「閉じる」をクリックして、「最適予想理論の構築」ウィンドウを閉じます。



※注意 10項目以下の理論項目で作成された予想理論を再構築した場合でも10項目を利用した予想理論が構築されます。これは最適理論構築も同様です。

アドバイス

コピーを利用して再構築する

理論の再構築を実行すると、もともとなった理論は、新たに作成された理論で上書きされます。もとの理論を保存しておきたい場合は、「ユーザ理論指定」のウィンドウの「設定済みの理論一覧」ボックスで保存したい理論を選択し、「複製」ボタンをクリックします。「コピー〜○○○○」という理論が作成されますので、そのコピーを利用して再構築を実行してください。



買い目と予想印のカスタマイズ

競馬道GTの予想機能では、予想印だけではなく買い目も提示されます。この買い目や予想印はユーザの好みに応じて変更できます。

買い目と予想印の設定

① この画面は4ページで行なった「競馬道汎用理論」による予想結果ですが、理論による予想印は○から×まで上位5頭についているのに対し、馬連や3連複などの買い目は上位4頭のボックスとなっています。この買い目の提示方法は、オプション設定から変更できます。



② 買い目の変更は、メインメニューにある「その他」から「オプション設定」を選択して行ないます。ここでは「馬/ワイド」のタブを選択して、「買い方」の項目で「2」の流し買いに変更し、ポイント1位の馬を軸に2位から4点流すように設定すれば完了です。「枠」「単/複」「馬単」「3連複」のタブでも同様の設定が可能です。なお、ここでは各馬のポイントによって流し買いや1点勝負にする「例外」設定もできます。



③ 買い目の設定を変更した後、再度同じレースを「競馬道汎用理論」で予想した画面です。馬連とワイドの買い目が本命馬を軸にした4点流しに変更されています。買い目を変更した後の再予想は、予想結果を表示している状態で、メニューの「拡張コマンド」から「再予想」を選択しても行なえます。

この画面で買い目表示を変更すると、回収率計算における馬券種別も同時に変更されます。回収率計算についての詳細は「回収率計算」(→37ページ)をご覧ください。



④ 普段使っている競馬新聞等にあわせて、予想理論を利用した予想結果の予想印を変更することも可能です。予想印の変更は、メインメニューの「その他」から「オプション設定」を選択し、「予想印」タブから行ないます。通常はポイント上位5頭までの馬に印が表示されますが、「その他」をチェックすれば6位から9位の馬に対しても、7種類の予想印の中から1つの印を選んで印を表示することが可能です。



アドバイス

予想に地方や海外のレース結果を使用しない

予想するレースの条件や適用する理論によっては、地方競馬で好成績を残している種牡馬や騎手が高い評価を獲得し、その産駒や騎乗馬のポイントが極端に高くなる場合があります。「オプション設定」の「予想」タブで「中央競馬開催以外のレースは予想で使用しない」にチェックを入れると、地方競馬や海外競馬のレース結果が予想に反映されなくなりますので、レースや理論に応じて利用してください。



フィルタをかける

「フィルタ」とは、理論による予想結果に特定の条件で「フィルタ」をかけ、予想の精度を一層向上する機能です。ここでは、その概要と設定について説明します。

フィルタの概要

枠	馬	理論	予想	馬名	総合	グラフ
2	4	◎	◎	ツルマルファイター	73.89	
8	16	○	○	サンライズキング	73.63	
1	2	▲	▲	ニューベリー	65.87	
2	3	△		エンドレスデザート	53.08	
7	13	×		ニホンピロハーレー	51.33	



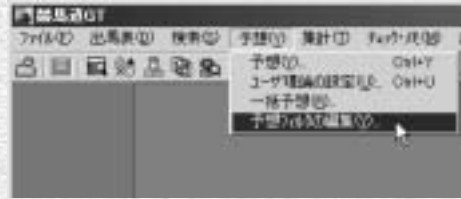
枠	馬	理論	予想	馬名	総合	グラフ
8	16	◎	○	サンライズキング	73.63	
2	4	○	◎	ツルマルファイター	68.89	
1	2	▲	▲	ニューベリー	64.87	
7	13	△		ニホンピロハーレー	51.33	
2	3	×		エンドレスデザート	48.08	

「フィルタ」機能では、「休養明け」や「初芝・初ダート」「降級」などといった要素によって、予想理論から算出された各馬のポイントを増減します。画面は2004年のすばるステークスを予想した例で、フィルタ適用前は休養明けだったツルマルファイターが本命でしたが、適用後は対抗になっています。

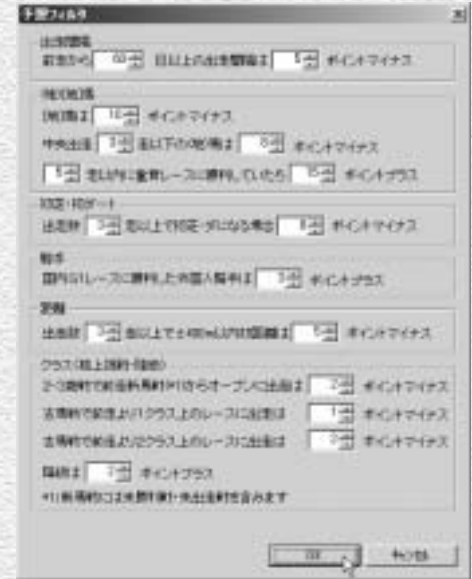
フィルタの項目

「予想フィルタ」機能では、[出走間隔] [◎・⊗馬] [初芝・初ダート] [騎手] [距離] [クラス] の6項目の設定が可能です。設定内容の詳細は29ページ手順②をご覧ください。
 なお、[予想フィルタ]は「予想」の他に「一括予想」機能（→33ページ）や「最適理論構築」機能（→18ページ）「回収率計算」（37ページ）にも適用できます（→30ページ、アドバイス）。

フィルタの設定と適用



① まず「フィルタ」の設定内容を確認します。メインメニューの「予想」から「予想フィルタの編集」をクリックします。



② 「予想フィルタ」ダイアログが表示されますので、個々の項目を必要に応じて調整してください。フィルタを適用しない項目については「0ポイントマイナス（プラス）」に設定してください。すべての設定が終了したら「OK」をクリックします。



③ 続いて、メインメニューの「予想」から、通常の手順と同様に予想を行ないます。

アドバイス

クラス（格上挑戦・降級）
 [クラス（格上挑戦・降級）]の項目は、出走馬の前走と今回のクラスを比較してポイントを増減するものです。そのため、「降級」にはクラス編成替えによる降級馬の他に、前走が格上挑戦だった馬も含まれます。

④ 予想結果が表示されましたら、メインメニューの【拡張コマンド】から【フィルタの適用】をクリック、または拡張ボックスの【フィルタ適用】ボタンをクリックしてください。フィルタの設定に応じて、ポイントとグラフが増減されます。



⑤ フィルタが適用されると、拡張ボックスの【フィルタ適用】ボタンが押された状態になります。このボタンをもう一度クリックするか、メニューの【拡張コマンド】で【フィルタの適用】のチェックを外せば、フィルタは解除されます。



アドバイス

「理論構築」「回収率計算」にフィルタを適用する

「一括予想」(→33ページ)や「理論構築」(→18ページ)、「回収率計算」(→37ページ)にフィルタを適用することもできます。常にフィルタを利用する場合や、回収率計算の結果を参考にフィルタの設定値を調整したい場合は、それぞれのオプション設定で「回収率計算でフィルターを使用する」にチェックを入れてください。「一括予想」「理論構築」「回収率計算」の【オプション設定】は共通ではありませんのでご注意ください。



穴馬チェッカー

競馬道GTには「予想理論」を用いた予想機能のほかに、予想を手助けする「穴馬チェッカー」機能が搭載されています。穴馬チェッカーを利用すると、指定した条件に合致する穴馬を簡単に見つけられます。

穴馬チェッカーの表示

① 「穴馬チェッカー」によるチェック結果は出馬表に表示されます。メインメニューの【出馬表】から、穴馬チェッカーを利用したいレースの出馬表を開き、【穴馬チェッカー】タブを選択します。

出馬表 > 2004 2京5 11R すばるステークス

2回京都5日目11R すばるステークス
2004年2月14日 4歳上OPEN (混)[指定] ハンデ ダ右 14

ベース H 推定タイム 良 1.238

レコード 1.21.9 タイキパイソン
JRAレコード 1.21.9 タイキパイソン

基本情報 | 血統 | 脚質 | 穴馬チェッカー | 前走 | 前

枠	馬	予想	B	馬名	性別
1	1	△		テイエムリキサン	牡4
1	2	▲		(父)ニューベリー	牡6
2	3			(外)エンドレスデザート	牡5
2	4	◎		ツルマルファイター	牡5

② 画面右に「穴馬チェッカー」による5つの項目が表示され、各項目で指定した条件に合致する馬には【○】印が表示されます。【○】印を表示する条件設定については次ページをご覧ください。



穴馬チェック項目の設定

① メインメニューの [チェック・メモ] から [穴馬チェックデータの設定] を選択すると、[穴馬チェック項目の設定] ダイアログが開きます。



② 「穴馬チェッカー」は、まず出走馬を [条件1] によってチェックし (人気による穴馬選定)、条件に合致した馬のみ [条件2] のチェックを行ないます。右の設定例では、1~3番人気、および12番人気以下の馬については [条件2] に合致しても前ページ②のチェック項目に [○] 印は表示されません。なお、[条件1] のチェックには競馬道OnLineの「予想オッズ」データを利用します。



アドバイス

想定出走表の「穴馬チェッカー」

「穴馬チェッカー」は通常の出走表のほかに、「想定出走表」(→ 51ページ) から利用できます。ただし、ユーザが作成した想

定出走表には「予想オッズ」データがないため、[条件1] によるチェックが省略されますのでご注意ください。

複数のレースを一括予想する

複数のレースをまとめて予想する機能が「一括予想」です。それぞれのレースに別の予想理論を適用することができるほか、複数の日にまたがった予想も可能なため、通常の馬券検討の際だけではなく、作成した予想理論の検証にも便利な機能です。

予想するレースの選択

① 一括予想は通常の予想と同様に、予想したい日の「出走表+競走馬」データが必要になりますので、予想を行なう前にあらかじめダウンロードし、競馬道GTに登録しておいてください。メインメニューの [予想] から [一括予想] を選択すると、[レース一括予想] のウィンドウが表示されます。はじめて一括予想をする場合は、ここで [オプション] の設定を行ないます。



② [オプション] の [馬/ワイド] タブをクリックして買い目の設定をします。設定方法は26ページで解説したものと同じですが、通常の予想と一括予想では異なった設定を利用しますので、それぞれについてオプション設定を行なってください。予想結果に馬単や3連複などを利用する場合も、該当するタブをクリックして同様に買い目の設定を行ないます。また [メール送信] タブにある [結果の作成に詳細形式を使用] をチェックしておくこと、詳細な予想結果が表示できます。



- ③ [開催年] [開催日] [競馬場] [馬券の種類] [レース] を選び、適用する予想理論をチェックします。[選択したレースと理論を適用] ボタンをクリックし、画面下の【適用レース】欄に、該当するレースと馬券の種類、理論名が表示されれば1レース分の選択は完了です。
1レースに複数の理論を適用することもできます。



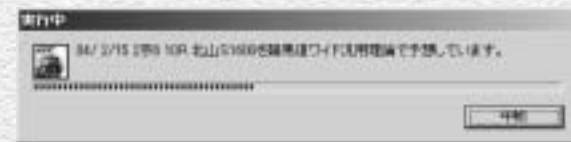
- ④ 同様に、予想したいレースを全て選択していきます。キーボードの「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながらレース名をクリックすれば、複数のレースを選択することができます。選択できるレース数は任意ですが、レース数に比例して予想にかかる時間は長くなります。



- ⑤ 予想するレースを選択し終わったら、画面でレースや適用する理論等に間違いがないことを確認します。もし間違っていたレースを選択してしまっていたり、適用する理論を変更したい場合は、適用レース欄の該当レース選択し、[削除] ボタンをクリックします。確認が終わったら【予想実行】ボタンをクリックしてください。



- ⑥ 予想処理が始まると、画面にインジケータで予想の進行状況が表示されます。
予想にかかる時間は、予想したレースや適用した予想理論、あるいはお使いのパソコンの性能等によって異なります。



- ⑦ 処理中のインジケータが消えれば予想は終了です。[結果表示] ボタンをクリックして、予想結果を確認してください。
この予想結果は、ファイルに保存したり、Eメールアドレスに送信することもできます。ファイルへの保存については下のアドバイスを、Eメールアドレスへの送信については次ページで解説していますので、そちらをご覧ください。



アドバイス

予想結果を保存する

一括予想で予想した結果は、テキスト形式で保存することができます。結果をその場で競馬新聞等へ書き込んでもいいのですが、競馬道GTのみで予想している場合や、IPAT投票を利用している場合は、ファイルに保存しておけばパソコン上ですぐに予想結果が確認できるので便利です。後で理論の検証をする際にも役立ちます。ファイルへの保存は、予想結果を表示した手順⑦の画面で、[保存] ボタンをクリックして行ないます。保存先とファイル名を設定するウィンドウが開きますので、任意のフォルダとファイル名を指定してください。ファイル名には日付やレース名などを設定するとわかりやすいでしょう。保存したファイルの閲覧は、Windowsに標準で付属しているメモ帳等で行ないます。



予想結果をメールで送信する

競馬道GTの一括予想では、予想結果をあらかじめ登録しておいたメール送信先に手軽に送信することができます。Eメールの受信が可能な携帯電話に送信しておけば、競馬場等の外出先でも予想結果を確認することができます。

送信先の設定方法

① 予想結果の送信先の指定は33ページ手順①の画面 [レース一括予想] の [オプション] から行ないます。[メール送信] タブを開き、メールアドレスと、送信に使う [SMTPサーバ名] を入力すれば、最低限の設定は終了です。以下の項目については、利用する環境等に適した設定を行なってください。[アドレス] 欄にメールアドレスをカンマで区切って入力すれば、複数のアドレスに結果を送信できます。



② 通常の手順同様に一括予想を行ないます。予想が終了したら、[送信] ボタンをクリックすれば、登録した送信先にメールが送信されます。手順①の画面で [上記のメールアドレスに予想終了後結果を送信] にチェックを入れておけば、この作業をしなくても予想終了と同時に結果がメールで送信されます。



③ メールを受信結果です。画面の例ではオプション設定で [詳細形式] をチェックして送信していますが、携帯電話の小さな画面なら、通常の形式で送信した方が読みやすいでしょう。通常の形式では馬名、性齢、斤量などの詳細情報が省略された内容 (前ページ手順⑦の画面と同様) が送信されます。

※ 予想印のDTは競馬ブック予想陣による予想印 (東: 松本憲二、西: 中野秀幸)、R1・R2・R3…は予想理論の印を表します。

